社協かるが

月刊

社協だより

平成28年9月号

発行：狩留家地区社会福祉協議会　　編集：広報部
広島市安佐北区狩留家町３１４４番地　ＴＥＬ：８４４－７２７８

動き出す区・市

狩留家でいつまでも安心して住み続けられるように、狩留家の一番安全な場所に、拠点（コミュニティ）を作って、そこに最低限必要な施設や建物を集めて建てたいと願い、広島市・安佐北区と共に動き出した「狩留家町づくり推進協議会」です。

山下コンサルタントのご指導の下、五回のワークショップを実施し、中学生以上の住民の思いをお聞きするためにアンケートも行い集計・分析作業も済ましました。狩留家ジンの熱意はカープ優勝の喜び同様に意気が上がっています。

しかし、ここに及んで、広島市・安佐北区は「拠点づくり」や「道の駅」作りを今までに実施した経験がないために、ここ三カ月ばかり迷走していた感があります。このままではいけないと、執行部が相談して、区長に直接に、この状況を打開して頂くようお願いをしました

九月二十三日に区長より回答があり、立岩区長が「狩留家町づくり推進協議会」の「特別顧問」に入り、安佐北区内と本庁のスタッフを交えた「狩留家拠点作りプロジェクト」（仮称）を設置するということでした。

今までに「拠点づくり」をやったことのない広島市がやることで、時間がかかりましたが、今後、着実に推進していけると思います。

今から再度行程表を作り直し、皆様のお知恵を結集しつつ、分担を明確にして狩留家の町づくり作業を進めていきたいと思います。特に地権者の皆様にはその後のご案内が遅れておりご心配をおかけしております。これらの要綱が定まり次第皆様にご報告致します。

（会長記）

敬老祝賀会開催　9/19
狩留家なすの姿に感動

九月十九日の敬老の日、狩留家地区社会福祉協議会の主催で、七十五歳以上の方をお招きして敬老祝賀会が開催されました。

式典は一年間に亡くなられた物故者を追悼し、祝賀行事に入りました。今年、百歳になられた中原フジエさんも元気なお姿で出席されて、皆で長寿を称え合いました。式典後、高陽中学校・吹奏楽部の生徒さんに“故郷”など懐かしい曲を美しい音色で演奏して頂き、祝福を受けました。その後、狩留家子ども会の代表の方が“お祝いや日頃の見守りに対する感謝の気持ち”などを作文にして発表され、子供会の全員で作ったキーホルダーを一人ひとりに手渡して頂きました。”狩留家なすのかわいい姿に感動！有難うございました。

午後の宴会の部ではカラオケのひまわり・あじさいグループ、ハーモニカンあおぎり、県民踊グループ、ごんた一家、狩留家駅前さくらさんご夫妻の民謡、そして“お楽しみに・・”時を忘れて、狩留家演芸を楽しみました。

夢かるがの一大イベント
そうめん会開催　9/10

夢かるがでの一大イベント。そうめん会が、社協黒川会長、狩留家保育園児をお客様に迎え開かれました。ラジオ体操で体をシャキッとさせスタート・今回サプライズで「中原フジエ様百寿の祝」を企画しました。

ハーモニカんあおぎりの演奏でバースデイソングを園児と歌いブリッジや亀のポーズを畳部屋いっぱい使い発表のあとふれあい肩たたき。外に出て、夢をたくさん詰め込んだ大きなシャボン玉で参加者を喜ばせてくれました。園児を見送った後、再びハーモニカ演奏で歌を歌い鯛そうめんやおむすびで昼食。三味線で百寿の祝いを演奏後、ティタイム。おしゃべりに花を咲かせ九月敬老会参加を相互に約束しながら散会しました。しっかり歌いしゃべって笑って食べることが元気百寿への道だと感じた楽しい一日でした。

理事会の報告

平成二十八年九月十三日

議題

一　敬老祝賀会確認事項について
二　かこがわ子供フェスタ実行委員会より（十月二十日）
三　救命処置とＡＥＤ研修会について
四　「狩留家高齢者地域支え合い事業」狩留家あんしんネット

八月資源ごみ売上　二万四千円